

答 申 結 果 概 要

諮 問 事 項

大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか

令和6年2月19日
葛飾区消防団運営委員会

(審議期間：令和3年10月から令和5年3月まで)

審議事項1 継続的な訓練や震災時活動マニュアルの整備は行っているが、震災に特化した実戦的な訓練が不足している

検討項目	葛飾区 答申	本業等をもち、時間等の制約がある消防団員が効率的・効果的に活動能力を向上させる方策
1 実戦的な現場力の向上	1-1 効率的で効果的な教育訓練 1-2 活動マニュアルを活用した実戦的な訓練 1-3 消防署と連携した効果的で実戦的な訓練 1-4 実効性のある訓練計画の策定と推進 1-5 過去の震災に基づいた教育訓練	1-1 積載車による出場から放水まで等の一連の火災対応訓練の推進 1-2 消防団訓練指導マニュアル等の整備による主体的な活動の定着化 1-3 特別区消防団の災害活動力強化に向けた更なる取組の推進 1-4 新たな訓練モデルの提示・検証による実戦的活動力の向上 1-5 特別区消防団員の特別研修の実施（兵庫県神戸市を視察）
2 研修等の充実関係	2-1 指導者の指導力を担保するため、統一的な指揮及び活動要領習得のための消防学校での研修 2-2 消防団員を指導する消防職員が、消防学校において統一的な指導者研修を行いレベルアップを図る。	2-1 消防学校研修や各種講習のアンケートや時勢を踏まえた随時見直し 可搬ポンプ実技講習の試行・検証 2-2 消防団の消防学校研修への職員の聴講の検討
3 訓練実施環境充実強化	3-1 分団本部の整備 3-2 実戦的な活動訓練実施場所の検討	3-1 区など関係機関と連携した訓練場所の確保推進 3-2 消防署訓練施設や方面訓練場を有効に活用した訓練の推進

審議事項2 新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の訓練や新人教育訓練が困難である

検討項目	葛飾区 答申	デジタル環境を有効活用した知識・判断力等の向上方策
1 現行のデジタル環境の活用関係	1-1 オンラインによる定期的な教育訓練の導入 1-2 訓練効果向上のためのデジタル環境の活用	1-1 東京消防団e-ラーニングシステムの更新による利便性の向上 1-2 タブレット端末を有効に活用した教養や訓練の推進
2 新たなデジタル環境の整備関係	2-1 震災活動のロールプレイングや、任務・階級に応じた災害対応要領が習得できるアプリの導入を推進 2-2 QRコードの読み取りにより、速やかに各種資機材の諸元性能や取扱い説明が視聴できる機能の導入	2-1 VRなどの技術を活用した訓練導入に向けた調査研究(VRなどの調査研究委託) 2-2 各種資機材取扱い動画等にアクセスできる二次元コード読み取り方式の導入検討

審議事項3 消防団員数の不足及び高齢化に伴い、活動力の低下が危惧される

検討項目	葛飾区 答申	消火活動能力を低下させないための入団促進及び充足率の維持向上方策
1 若い世代の団員確保関係	1-1 総合防災教育への積極的参加及び学校教育での防災授業等を組み入れ、防災の芽を育む取組を推進 1-2 管内の専門学校や大学、各種企業等と連携し、消防団合同点検の見学会や各種体験入団を推進 1-3 各団員が広報担当となり、友人や知人への声掛けによる入団促進を推進	1-1 積極的な学校教育への参加及び資器材等の展示の推進 1-2 あらゆる機会での消防団活動の見学や資器材等の展示の推進 1-3 現役消防団員との座談会の実施方法の検討
2 募集広報の充実・強化関係	2-1 インターネット広告の充実などにより、継続した消防団募集広報活動を推進 2-2 タイムリーな情報発信を行い、より身近な消防団をアピールし広く理解を深める。 2-3 メディアを活用し、消防団や地域の魅力を伝え、効果的な入団促進を推進	2-1 インターネット広告による募集強化の充実 2-2 HP、SNS等を活用した消防団活動に興味を抱く情報発信の推進 2-3 団員インタビュー動画等を活用した地域紹介や消防団の魅力が伝わる広報の推進
3 各種制度の利活用関係	3-1 学生消防団認定制度のメリットの周知・付加価値の検討 3-2 大規模災害団員や機能別団員の入団促進による基本団員の負担軽減を図る。	3-1 学生認定制度の周知による募集広報の強化 3-2 大規模災害団員制度等の更なる周知と活用による退団への対策の強化

審議事項4 消防団員の平均年齢の上昇に伴い、各種活動面における負担軽減に配慮した資機材の整備が必要である

審議項目	葛飾区 答申	効果的かつ負担軽減した装備資機材の検討
1 新たな資機材整備	1-1 長距離ホース延長の負担軽減の検討 1-2 長時間の大量放水が可能な消火資機材の検討 1-3 新たな消火資機材や可搬ポンプ搬送資器材などの検討	1-1 震災時等、迅速にホース延長できるホースバッグの整備 1-2 台座付き放水銃など、消火能力や安全管理向上のための資器材の導入検討 1-3 資器材の電動化や新しい技術を取り入れた資器材の導入検討
2 軽量化などの負担軽減関係	2-1 非常用発動発電機、携帯型油圧救助器具、手引き可搬ポンプなどの軽量化	2-1 更新時に既存資器材の軽量化やコンパクト化など、市場の開発動向の注視と検討